

社会学研究室文献リスト〔2012 年度〕

- ・アイヌ文化振興・研究推進機構, 2012, 「平成 24 年度 財団のあらまし」.
- ・浅井春夫／松本伊智朗／湯澤直美編, 2008, 『子どもの貧困 子ども時代のしあわせ平等のために』明石書店.
- ・旭川市, 2006, 『ごみ処理・生活廃水処理基本計画』.
- ・鰐坂学／高原一隆編, 1999, 『地方都市の比較研究』法律文化社.
- ・井上富雄, 1969, 『日本的能力主義』日本経営出版会.
- ・今井貴子, 2011, 「包摂のゆくえ 政権交代後のイギリスにかんする一考察」『生活協同組合研究』431:41-49.
- ・医療問題研究会編, 2011, 『低線量・内部被爆の危険性 その医学的根拠』耕文社.
- ・いわて生活協同組合, 2012, 「思いをひとつにみんなの力で 東日本大震災被災地支援活動『協同の力で取り組んだ一年』」.
- ・宇田和子, 2012, 「カネミ油症事件における『補償制度』の特異性と欠陥 法的承認の欠如をめぐって」『社会学評論』63(1):53-69.
- ・大瀧雅之, 2011, 『平成不況の本質 雇用と金融から考える』岩波新書.
- ・岡田朋之／松田美佐編, 2012, 『ケータイ社会論』有斐閣選書.
- ・小野耕二編, 2009, 『構成主義的政治理論と比較政治』ミネルヴァ書房.
- ・小野紀明／辻本雅史／安斎敏三／山室信一／溝部英章／菊地久／広岡守穂, 1992, 『近代日本の意味を問う 政治思想史の再発見Ⅱ』木鐸社.
- ・加藤司, 2012, 「震災からの復興と地域ブランド」『生活協同組合研究』407:13-21.
- ・唐鎌直義, 2006, 「家族持ち勤労者世帯に広がる貧困と格差」『総合社会福祉研究』28:2-14.
- ・環境社会学会編, 2012, 「特集：環境社会学にとって『被害』とは何か」『環境社会学研究』18:5-111.
- ・環境省地球環境局, 2012, 「リオ+20 我々が望む未来 会議の成果と今後の課題」.
- ・関西社会学会編, 2011, 「特集Ⅱ：労働における差別と排除」『フォーラム現代社会学』10:57-108.
- ・関西社会学会編, 2012, 「特集Ⅰ：社会学が捉える現代資本主義 新しい『経済と社会』の可能性」『フォーラム現代社会学』11:67-99.
- ・木田元, 2007=2010, 『反哲学入門』新潮文庫.
- ・キネマ旬報編集部編, 2009, 「特集：ナチスを語る映画ナチスが作った映画」『キネマ旬報』1539:56-68.
- ・共済主義実践運動本部, 2007, 「共済主義実践運動」.
- ・黒田亮, 1938=1981, 『続勘の研究』講談社学術文庫.
- ・河野憲一, 2012, 「テーマ別研究動向〈現象学的社会学〉」『社会学評論』62(4):571-583.
- ・阪井裕一郎, 2012, 「家族の民主化 戦後家族社会学の〈民間のプロジェクト〉」『社会学評論』63(1):36-52.

- ・ サッポロホールディングス, 2012, 『サッポログループ CSR レポート 2012』.
- ・ 澤昭裕, 2010, 『エコ亡国論』 新潮新書.
- ・ 渋谷望, 2003, 『魂の労働 ネオリベラリズムの権力論』 青土社.
- ・ 清水幾太郎編, 1964, 『現代思想事典』 講談社現代新書.
- ・ 清水修二, 2012a, 『原発とは結局なんだったのか いま福島で生きる意味』 東京新聞.
- ・ 清水修二, 2012b, 「原子力被災地ふくしま復興の課題」『生活協同組合研究』 410:6-13.
- ・ 生協総合研究所編, 2011, 「特集：いまもう一度、フードデザートを考える」『生活協同組合研究』 431:4-40.
- ・ 生協総合研究所編, 2012a, 「特集：社会保障と税をめぐって」『生活協同組合研究』 438:4-59.
- ・ 生協総合研究所, 2012b, 『第 22 回全国研究集会 「東日本大震災 2 年目の支援課題」＝生活の協同と地域の連携＝』.
- ・ 生協総合研究所, 2012c, 『第 22 回全国研究集会 「東日本大震災 2 年目の支援課題」＝生活の協同と地域の連携＝ 別冊資料集』.
- ・ 生協総合研究所, 2012d, 「東日本大震災・復興と生活協同組合の役割 Annual Report2011-2012」.
- ・ 関礼子, 2003, 『新潟水俣病をめぐる制度・表象・地域』 東信堂.
- ・ 高成田亨, 2012, 「新しい風を入れなければ未来はない」『季刊 くらしと協同』 1.
- ・ 高根正昭, 1979, 『創造の方法学』 講談社現代新書.
- ・ 塚田守, 2008, 「ライフストーリー・インタビューの可能性」『相山女学園大学研究論集（社会科学編）』 39:1-12.
- ・ 辻大介, 1996, 「若者におけるコミュニケーション様式変化 若者語のポストモダニティ」『東京大学社会情報研究所紀要』 51:42-61.
- ・ デカルト, R. (落合太郎訳), 1637=1953, 『方法序説』 岩波文庫.
- ・ 東京大学大学院農学生命科学研究科編, 2012, 「東京大学農学部公開セミナー 第 43 回 グローバル化経済と日本の農業 講演要旨集」.
- ・ 當山宏／行方久生, 2012, 「首長インタビュー43 『未来への地方自治』」『季刊 自治と分権』 48:4-20.
- ・ 長尾弥生, 2008, 『みんなの「買う」が世界を変える フェアトレードの時代 顔と暮らしの見えるこれからの国際貿易を目指して』 コープ出版.
- ・ 中野実, 1989, 『現代政治学叢書 4 革命』 東京大学出版会.
- ・ 西村邦行, 2012, 『国際政治学の誕生 E.H.カーと近代の隘路』 昭和堂.
- ・ 日本水産学会監修／山本民次編, 2010, 『「里海」としての沿岸域の新たな利用』 恒星社厚生閣.
- ・ 日本生活協同組合連合会, 2012, 『生協の社会的取り組み報告書 2012』.
- ・ 野邊政雄, 2011, 「中国地方山村における人口移動の動向 岡山県苫田郡富村の事例」『教育実践論集』 12:181-195.

- ・萩原信次郎, 2012, 「TPP と労働問題 行き着く先は貧困と格差の拡大」『自治と分権』48:94-104.
- ・服部英太郎, 1967, 『社会政策総論』未来社.
- ・花田昌宜, 2006, 「水俣病事件研究の新展開に向けて 水俣学の課題ノート」『社会関係研究』11(1.2):143-167.
- ・ハーバーマス, J. (三島憲一編訳), 2000, 『近代 未完のプロジェクト』岩波現代文庫.
- ・平澤明彦, 2008, 「不安定要素の増すオーストラリアからの小麦調達 旱魃の増加と輸出独占の廃止」『農林金融』61(9):35-47.
- ・船津衛編, 1992, 『現代社会論の展開』北樹出版.
- ・船戸修一／武田俊介／祐成保志／矢野晋吾／市田知子／山泰幸, 2012, 「テレビの中の農業・農村 NHK『明るい農村(村の記録)』を事例として」『村落社会研究ジャーナル』19(1):37-47.
- ・船橋晴俊, 2012, 『現代社会学ライブラリー2 社会学をいかに学ぶか』弘文堂.
- ・細内信孝, 1999=2010, 『新版 コミュニティビジネス』学芸出版社.
- ・北海道大学大学院文学研究科宮内泰介研究室編, 2012, 『聞き書き 千栄に生きる 北海道日高町千栄地区の生活誌』.
- ・堀江湛／富田信男／上條末夫編, 1980, 『政治心理学』北樹出版.
- ・前泊博盛／行方久生, 2012, 「著者に肝を聞く 18 特別対談：沖縄の今を論ずる 前泊博盛『沖縄と米軍基地』」『季刊 自治と分権』48:21-45.
- ・益田仁, 2012, 「若手非正規雇用労働者と希望」『社会学評論』63(1):87-105.
- ・松本伊智朗, 2006, 「子どもの貧困と社会的排除 研究のための予備的ノート」『総合社会福祉研究』29:31-45.
- ・マルクス, K. (向坂逸郎訳), 1969, 『資本論 (六)』岩波文庫.
- ・丸山定巳／田口宏昭／田中雄次／慶田勝彦編, 2004, 『水俣の経験と記憶 問いかける水俣病』熊本出版文化会館.
- ・御厨貴／中村隆英編, 2005, 『聞き書 宮沢喜一回顧録』岩波書店.
- ・御厨貴／牧原出編, 2011, 『聞き書 武村正義回顧録』岩波書店.
- ・御厨貴／牧原出編, 2012, 『聞き書 野中広務回顧録』岩波書店.
- ・満岡伸一, 1924=2003, 『アイヌの足跡【第9版増補】』アイヌ民族博物館.
- ・水俣市, 2007, 『水俣病 その歴史と教訓』.
- ・峰山巖, 1983, 『謎の刻画 フゴッペ洞窟』六興出版.
- ・矢ヶ崎克馬／守田敏也, 2012, 『内部被曝』岩波ブックレット.
- ・薬師寺克行編, 2012, 『村山富市回顧録』岩波書店.
- ・湯元健治／佐藤吉宗, 2010, 『スウェーデン・パラドックス 高福祉、高競争力経済の真実』日本経済新聞出版社.
- ・吉原毅, 2012, 『信用金庫の力 人をつなぎ、地域を守る』岩波ブックレット.
- ・ラティモア, O.E. (平野義太郎監修／小川修訳), 1950, 『中国 民族と土地の歴史』岩波新書.

- ・ 渡戸一郎／谷富夫編，2012，「特集・都市社会研究の新たなパラダイムのために」『社会学評論』62(4):422-535.
- ・ 渡部昇一，1983，『レトリックの時代』講談社学術文庫.
- ・ Aly, G., 2005, *Hitlers Volksstaat: Raub, Rassenkrieg und Nationaler Sozialismus*, Frankfurt am Main: S. Fisher Verlag GmbH. (=芝健介訳，2012，『ヒトラーの国民国家 強奪・人種戦争・国民的社会主義』岩波書店).
- ・ Bandazhevsky, Y.I., 2000, *Medical and Biological Effects of Radiocesiumincorporated into the Human Organism*, Minsk: The Institute of Radiation Safety “BELRAD”. (=久保田護訳，2011，『放射性セシウムが人体に与える医学的生物学的影响 チェルノブイリ原発事故被曝の病理データ』合同出版).
- ・ Bertlett, B.R., 1981, *Reaganomics: Supply Side Economics in Action*, Westport Connecticut: Arlington House Publishers. (=齋藤精一郎訳，1982，『レーガノミックス 供給サイドの経済学は時代を変える』ダイヤモンド社).
- ・ Braudel, F., 1949=1966, *La Mediterranee: et le Monde Meditteraneen a l'Epoque de Philippe II*, Armand Colin, Deuxieme edition revue et corrigeed. (=浜名優美訳，1991，『地中海 I 環境の役割』藤原書店).
- ・ Castells, M., 1999, *Global Economy, Information Society, Cities and Regions*. (=大澤善信訳，1999，『都市・情報・グローバル経済』青木書店).
- ・ Held, D., 2010, *Cosmopolitanism: Ideals and Realities*, Cambridge: Polity Press. (=中谷義和訳，2011，『コスモポリタニズム 民主制の再構築』法律文化社).
- ・ George, S., 2010, *Leues Crises, Nos Solutions*, Paris: Albin Michel. (=荒井雅子訳，2011，『これは誰の危機か、未来は誰のものか なぜ1%にも満たない富裕層が世界を支配するのか』岩波書店).
- ・ Marcuse H., 1956, *Eros and Civilization: A Philosophical Inquiry into Freud*, London: The Beacon Press. (=南博訳，1958，『エロスの文明』紀伊國屋書店).
- ・ Morris, C.R., 2008, *The Trillion Dollar Meltdown*, Massachusetts: PublicAffairs, a member of the Perseus Books. (=山岡洋一訳，2008，『なぜ、アメリカ経済は崩壊に向かうのか 信用バブルという怪物』日本経済新聞出版社).
- ・ Strange, S., 1996, *The Retreat of the State: The Diffusion of Power in the World Economy*. Cambridge: Cambridge University Press. (=櫻井公人訳，1998=2011，『国家の退場 グローバル経済の新しい主役たち』岩波書店).
- ・ Todd, E., 2002, *Apres L'Empire: Essai sur le Decomposition du Systeme Americain*, Paris: Gallimard. (=石崎晴巳訳，2003，『帝国以後 アメリカ・システムの崩壊』藤原書店).
- ・ Todd, E., 2011, *Allah n'y est pour rien!: Sur les revolutions arabes et quelques autres*, LOUBIANA. (=石崎晴巳訳，2011，『アラブ革命はなぜ起きたか デモグラフィとデモク

ラシー』藤原書店).

- ・ Vitaux, J., 2007, *La Gastronomie*, Paris: Unibersitaires de France(Collection QUE SAIS-JE? N° 3788). (=佐原秋生訳, 2008, 『ガストロノミ 美食のための知識と知恵』白水社).

社会学ゼミであつかった文献一覧<2012 年度>

- ・ 見田宗介, 2006, 『社会学入門』岩波新書.
- ・ Castells, M., 1993, *The Informational Economy and the New International Division of Labor*, Carnoy, M., Castells, M., Cohen, S.S. and Cradso, F.H., *The New Global Economy in the Information Age*, The Pennsylvania State University Press. (=大澤善信訳, 1999, 「情報経済と新国際分業」, 『都市・情報・グローバル経済』青木書店, pp.75-105).
- ・ Strange, S., 1998, *Mad Money*, Manchester: Manchester University Press. (櫻井公人/櫻井純理/高嶋正晴訳, 1999=2009, 『マッド・マネー カジノ資本主義の現段階』岩波現代文庫).
- ・ 村井吉敬, 2007, 『エビと日本人Ⅱ』岩波新書.

社会学演習であつかった文献一覧<2012 年度>

- ・ 吉岡斉, 1999=2011, 『新版 原子力の社会史 その日本的展開』朝日新聞出版.
- ・ 長谷川公一, 2011, 『脱原子力社会へ 電力をグリーン化する』岩波新書.
- ・ Solomon, S., 2010, *Water: The Epic Struggle for Wealth, Power, and Civilization*, Harper Collins Publishers. (=矢野真千子訳, 2011, 『水が世界を支配する』集英社).
- ・ Pollan, M., 2006, *The Omnivore's Dilemma: A Natural History of Four Meals*, The Penguin Press. (=ラッセル秀子訳, 2009, 『雑食動物のジレンマ (上・下) ある4つの食事の自然史』東洋経済新報社).
- ・ Kelsey, J. ed., 2010, *No Ordinary Deal: Unmasking the Trans-Pacific Partnership Free Trade Agreement*, Wellington: Bridget Williams Books Ltd.. (=環太平洋経済問題研究会/農林中金総合研究所訳, 2011, 『異常な契約 TPPの仮面を剥ぐ』農文協).
- ・ Patel, R., 2007, *Stuffed and Starved: The Hidden Battle for the World Food Systems*, Portobello Books Ltd.. (=佐久間智子訳, 2010, 『肥満と飢餓 世界フード・ビジネスの不幸のシステム』作品社).
- ・ サピール, J., 2011, 「統計の人為性による自由貿易のイデオロギー化 『脱グローバリゼーション』第1章」, トッド・E/リスト・F/トッド・D/グレオ・J-L/サピール・J/松川周二/中野剛志/西部邁/関曠野/太田昌国/関良基/山下惣一, 2011, 『自由貿易という幻想リストとケインズから「保護貿易」を再考する』藤原書店, pp.157-189.